

**映画上映「イラク チグリスに浮かぶ平和」** 12月17日(土)\*\*\* 2014年製作、綿井健陽監督 \*\*\*  
世界の各地で起こっているさまざまな出来事に関心を持ち、世界の子どもたちを支援するユニセフへご協力いただけるようなイベントの一つとして、毎年映画上映を実施しています。今年は、せんだいメディアテーク スタジオシアターを会場に、午前・午後の2回上映し、延べ180人が鑑賞しました。大量破壊兵器保有を口実に、2003年3月から始まったイラク戦争。10万人以上のイラク人の命を奪われました。2011年に米軍はイラクから撤退しましたが、いまなお混乱は続いています。開戦前夜、空爆、米軍による制圧と占領、宗派抗争、爆弾テロなどを取材し続けてきたジャーナリスト綿井健陽氏が、彼らの人生の「その後」を追い、戦乱の10年を描き出しています。日本も支持した戦争は何をもたらしたのか?を問う作品。終わることのない戦乱に疲れ果て、「戦争の日常」を懸命に生きる姿と表情

と言葉が印象に残りました。会場の皆さまからユニセフ募金に56,217円のご協力がありました。



©ソネットエンタテインメント/綿井健陽

## 出前授業を実施しました

■11月29日、聖ドミニコ学院小学校でハンド・イン・ハンド「栄養不良から小さな命を守ろう」という今年のテーマの学習を行いました。毎年、12月に全児童で行うハンド・イン・ハンドの事前学習です。高学年88名、低学年118名の元気



な児童たちが熱心にユニセフの学習に参加しました。12月10日に街頭募金活動を行い、708,000円のご協力がありました。寒い中、がんばりました。

■12月16日、仙台白百合学園中学校3年生98名が参加しての学習会を行いました。学習ビデオ「この世界に生きる子どもたち」と「ユニセフと地球のともだち」の2本を視聴しました。ユニセフの歴史や現在の活動についてはパワーポイントで多くの写真を示しながら学習しました。体験学習では、経口補水療法、蚊帳の体験、水がめによる水運びを行いました。終了後にはみんなで取り組んだ募金の贈呈式もありました。

## 日本生協連東北地連主催の活動交流会

12月8日、東北の生協からの代表の方々が集まり、平和活動とユニセフ支援活動の交流会が開催され、日本ユニセフ協会の石尾さんから東ティモール指定募金の途中経過と成果について報告が



ありました。会場の雰囲気作りにユニセフの写真パネル「笑顔のこどもたち」を展示しました。

## 募金贈呈式・・・神さまのご用のために・・・

南光シオン幼稚園のかわいい園児さんが、園長先生といっしょに募金を持ってきてくれました。『神さまのご用のためにお使いください』と、元気な声でかわいいボックスを手渡してくれました。



12月9日、2016年度第2回理事会をフォレスト仙台の会議室で開催しました。今年度の事業経過と収支経過報告、来年度の事業計画と収支予算案等を審議していただきました。多くの方々に支えられ、次年度も多彩な活動を実施する予定です。